教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容 企業体験実習Ⅱ 実									
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前其	期・後期	授業コマ数	17	コマ	単位数	1	単位		
授業目標	1. 企業での実践 2. 自分の能力を	•	•	_	, ,							
授業概要	インターンシップ実際の場で、現場		ら指導	を受ける。	(事前指導1	コマ、	,事後持	指導 1 コマ	を含	t)		
	定期テスト 前	ī期	後期	1	その他(レ	ポー	トなど)					
成績評価	小テスト 前	前 回	• 後期	旦	前期 回	後其	期 [1				
方法	評定方法											
	企業からの評価と											
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る									
(実務経験を有する	る)・ 旬	即知	識や資格等	を有する							
担当教員	企業等担当者の実	務経験										
	企業担当者が実務	経験を活	かして耳	職業観や職績	努内容について	教授						
使用 テキスト等	自主作成プリント	など										

Т

ſ

教育科目	グループマネジ	シメントⅡ	教司	育内容	グループマ	ネジ	メント	П	湞	習	
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期.	後期	授業コマ数 15 コマ		コマ	単位数	1	単位	
授業目標	1. グループ作業	1. グループ作業に必要な情報伝達、マネジメント手法を習得する。									
授業概要	構成的グループエ プ運営の手法を体	ŕ		のワー <i>ク</i>	'を通して、コ	ミュ	ニケー	ション技術	ଟ 、ク	ブルー	
	定期テスト 前	ī期	後期		その他(レ	ポート	へなど)				
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後期	回	前期 回	後其	月 [司			
方法	評定方法										
	振り返りレポー	トと出席	率により半	判定する	0						
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る								
	実務経験を有する	5) (見門知識や	資格等	を有する						
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	しての実	務経験							
	実務経験を活かし	て知識・	技術・グバ	レープワ	ーク・プレゼ	ン方法	去等を表	教授			
使用 テキスト等	自主作成教材										

教育科目	Web デザインII	I	請	素 義						
学 科 開講学年	IT 学科 2年	開講期	前期・行	後期	授業コマ数	15	コマ	単位数	1	単位
授業目標	 デザインにつ 進化思考によ 			, - 0	開発・アイデ [゛]	ア発れ	思力を習	習得する。		
授業概要	初めにデザインの必 せない基礎知識を習 習得する。						,	,. ,. ,		
成績評価 方法	,,,		後期 ・後期 り組み状況	回足により		ポー 〕 ・後期	,	可		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
担当教員	実務経験を有する IT 企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	しての実績			ン方法	去等を剥	教授		
使用 テキスト等	太刀川 英輔『進作	···思考 [增	曾補改訂版]]』(海士	この風)					

教育科目	jQuery I			教育内容	jQuery I				請	素 義
学科開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期	沙 後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. JavaScript 用				ァクトスタンダ ルの読み込み ^た				を利	川用し、
授業概要	よく使われるスライ ていく。	、 ドショー [、]	やスティ	イッキーヘッ	ダーを制作しな	こがら、	jQuer	yの基本構	文を	学習し
	定期テスト(前	i期	後期		その他(レ	ポート	など)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後期	口	前期 回	・後期	1	可		
<u>方法</u>	評定方法 毎回課題を提出	させ、定期	月テスト	、と合わせ絲	合評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
(実務経験を有する	5) · €	建門知語	畿や資格等	を有する					
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	しての	実務経験						
	実務経験を活かし	て知識・	技術·	グループワ	'ーク・プレゼ	ン方法	等を教	教授		
使用 テキスト等	株式会社シフトブ	レイン『j(Query :	最高の教科	書』(SB クリエ	イティ	ブ)			

教育科目	国家試験対策Ⅱ			教育内容	国家試験対策	ŧΠ			湞	習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期	男 後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位
授業目標	1. 基本情報技術	者試験、原	芯用情	報技術者討	験に合格でき	る。				
授業概要	情報処理技術者試	、験に向け [、]	て必要	「な知識を習	得する。					
	定期テスト 前	i期	後其]	その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後期	旦	前期 回	• 後其	期 [可		
方法	評定方法				·					
	各種検定の受験	結果及び	平常点	(検定試験	(結果を含む)	によ	り判定で	する。		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によっ	る							
担当教員	実務経験を有する	る ・ ⑤	門知	識や資格等	を有する					
使用	『基本情報科目B	対策 STE	EP BY	STEP 問題	頃集』(インファ	ォテッ	ク・サ	ーブ)		
テキスト等	『情報処理教科書	出るとこ	だけ	! 基本情報	技術者[科目]	B]第	34版』	(EXAMP	RES	S)

教育科目	総合実践Ⅲ			教育内容	総合実践Ⅲ	[淨	習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期)• 後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位
授業目標	 ウォーターフ 複数人での合 		•		テム開発を行いがら複数人で	• •			きする	0
授業概要	グループごとにデ 作業を行う。	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	システィ	ム・企画の	発案、設計、開	発を	行いな	がら複数。	人での)開発
	定期テスト 前	i期	後期		その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	•後期	口	前期回	後其	朝 [囙		
方法 	評定方法									
	成果物の提出、			により判定	ごする。 					
評定基準	『坪内学園教務規									
	実務経験を有する		厚門知 證	や資格等	を有する					
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こしての	実務経験						
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	<i>ワ</i> ーク・プレゼ	ン方泊	去等を	教授		
使用 テキスト等	自主作成教材									

教育科目	Python I			教育内容	Python I				ĩ	習
学科	IT 学科	開講期	前期	別・後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位
開講学年	2 年									
授業目標	1. Python の一角	设的なクラ	ラスや。	メソッドのタ	知識を習得する	5 .				
授業概要	Python の一般的 礎を学ぶ。	なクラス [。] ー	やメソ	ッドの知識	を習得し、AI	を活	用した	プログラ、	ム作品	成の基
	定期テスト(前	i期	後期		その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後期	旦	前期 回	• 後其	朝 [
方法	評定方法				•					
	定期試験及び平	常点によ	り判定	する。						
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
	実務経験を有する	5 · Q	[門知]	識や資格等	を有する					
担当教員										
使用 テキスト等	国本大悟『スッキ	リわかる	Pytho	on 入門』(<i>-</i>	インプレス)					

教育科目	制作演習Ⅱ		ŧ	数 育内容	制作演習Ⅱ				海	習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期) · 後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位
授業目標	V = 7.1.1.1.1.1	オールモ	デルに沿	合ったシス	きる作品を制たの場でのできます。			流れを理解	する	0
授業概要	自主的な制作物を 作業の流れに沿っ				こシステム設計	から	開発テ	ストまで	実際の)開発
成績評価 方法			後期 ・後期 平常点に	回 	その他(レ 前期 2回 でする。		,			
評定基準	『坪内学園教務規	上程』によ	る							
担当教員	実務経験を有する IT企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	こしての	実務経験		ン方洋	生等を考	教授		
使用 テキスト等	自主作成教材									

教育科目	メディア制作 I	教育内容 メディア制作 I								習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期	・後期	授業コマ数	15	コマ	単位数	1	単位
授業目標	 マルチメディ 習得する。 	アコンテ	ンツの쉽	全画、制作	きすることで	、IT	技術の	多角的な液	舌用フ	方法を
授業概要	自主的な制作物を の創出力を養う。	·検討、実l	際の開発	き、コンテ	ンツの制作を迫	通して	独創的	〕、創造的海	なアー	イデア
	定期テスト 前	i期	後期		その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	•後期	口	前期 2回	・後	期	1		
方法	評定方法									
	成果物の提出、			こより判定	ごする。					
評定基準	『坪内学園教務規	!程』によ	る							
,	実務経験を有する	3) · €	厚門知識	や資格等	を有する					
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	しての	実務経験						
	実務経験を活かし	て知識・	技術・ク	ゲループワ	<i>リ</i> ーク・プレゼ	ン方	法等を	教授		
使用 テキスト等	自主作成教材									

教育科目	JSP I			教育内容	JSP I				ĩ	實習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前非	期·後期	授業コマ数	15	コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. JSP の一般的	コなアプリ	ケーシ	/ョン開発力	方法を習得する	0		l i		
授業概要	JSP を学び、Web	ァプリク	ーショ	ョン開発を行	〒う					
	定期テスト 前	i期	後其	月	その他(レ	ボー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	後其	月 回	前期 回	• 後其	朝 [
方法	評定方法									
	振り返りレポー	トと出席	率によ	り判定する) 0					
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
	実務経験を有する	s · 🤅	即知	識や資格等	を有する					
担当教員										
使用	 国本大悟『スッキ	リわかる	サーフ	ゲレット&JS	SP入門 第3版	反』((インフ	°レス)		
テキスト等						_				

教育科目	Web デザインΓ	V		教育内容	Web デザ⁄	インIV		討	構義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前块	期·後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. 画面設計に必	要なデザィ	イン理語	論を学び、U	JI 設計に必要な	は原理・原則	などの知識	, 我を学	. Š.,
授業概要	数名のチームに分り	t、「UX i	設計→U	JI 設計→デ	ザイン」の手順	で実際に Wel	b サイトをf	制作す	⁻ る。
	定期テスト 前	ī期	後其	月	その他(レ	ポートなど))		
成績評価	小テスト 前	i期 回	•後期	月 回	前期回	· 後期	口		
方法	評定方法								
	定期テストに代			見と日々の携	是出課題にて総	合評価する	0		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る						
(実務経験を有する	₹ •	東門知	識や資格等	を有する				
担当教員	IT 企業でのプロク	グラマーと	こしての	の実務経験					
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	<i>リ</i> ーク・プレゼ	ン方法等を	教授		
使用	吉田真麻『TML5/0	CSS3 モタ	ブンコー	ーディング	フロントエンド	エンジニア	が教える3	つの	本格レ
テキスト等	イアウト』(翔泳	社)							

教育科目	国家試験対策Ⅲ	数育内容 国家試験対策Ⅲ								實習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前	期後期	授業コマ数	15	コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. 基本情報技術	者試験、	応用情	青報技術者 討	験に合格でき	る。				
授業概要	情報処理技術者試	(験に向け	て必要	要な知識を習	得する。					
	定期テスト 前	i期	後其	月	その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	期 回	・後其	明 回	前期回	後其	期 [□		
方法 	評定方法									
	各種検定の受験	結果及び	平常点	点(検定試験	注結果を含む)	によ	り判定で	する。		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
担当教員	実務経験を有すん	5 · (専門知	識や資格等	を有する					
使用	『基本情報科目B	対策 ST	EP BY	Y STEP 問題	<u>ーーーー</u> 運集』(インフ:	 ォテッ	ク・サ	ーブ)		
テキスト等	『情報処理教科書	出るとこ	こだけ	! 基本情報	技術者[科目]	B]第	54版』	(EXAMP	RES	S)

教育科目	プレゼンテーシ	′ョン I		教育内容	プレゼンテ	ーショ	ョンI		ĩ	資習	
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前非	期·後期	授業コマ数	15	コマ	単位数	1	単位	
授業目標	2. プレゼンテー	プレゼンテーションに適した資料作成ができる。 プレゼンテーションに適した発声ができる。 自分の考えをまとめ、他者へ伝えることができる。									
授業概要	テーマに沿った発 ついて振り返りを			,		/ョン	を行っ	て資料・多	発表₽	内容に	
成績評価 方法	,,,		後期・後期	月 回		ポー ・後其		피			
 	『坪内学園教務規			、サ刊足りる) 0						
担当教員	実務経験を有する IT 企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	こしての	の実務経験		ン方泡	去等を	教授			
使用 テキスト等	自主作成教材										

教育科目	卒業研究 I			教育内容	卒業研究 I				ĩ	資習			
学 科 開講学年	IT 学科 2年	開講期	前期	明·後期	授業コマ数	45	コマ	単位数	3	単位			
授業目標	 思い描くシス 言語による特 				を使って開発	_	- 0	ができる。					
授業概要	学習したプログラ	たプログラミング言語を活用し、自分の思い描くシステムを企画・開発する。											
	定期テスト 前	期	後期		その他(レ	ポー	トなど)						
成績評価	小テスト 前	期 回	・後期	口	前期 回	• 後其	朝 [口					
方法	評定方法												
	作品提出・発表	及び平常	点によ	り判定する	0 0								
評定基準	『坪内学園教務規	.程』によ	る										
	実務経験を有する		厚門知語	戦や資格等	を有する								
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こしての	実務経験									
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	'ーク・プレゼ	ン方法	法等を	教授					
使用 テキスト等	特になし												

教育科目	総合実践IV	教育内容 総合実践IV								習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前其	引·後期	授業コマ数	45	コマ	単位数	3	単位
授業目標		意形成、	情報共	有を行いな	テム開発を行いがら複数人でいきる。				こする	0
授業概要	グループごとにウ 開発作業の流れに		•	, –,		設計	から開	発テスト	まで気	実際の
成績評価 方法			後期 ・後期 ・ 後期	回		ポー ・後其		<u>可</u>		
 評定基準	『坪内学園教務規									
担当教員	実務経験を有する IT 企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	こしての	実務経験		ン方	法等を	教授		
使用 テキスト等	自主作成教材									

教育科目	Ruby I			教育内容	Ruby I				請	靠義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期) • 後期	授業コマ数	29	コマ	単位数	1	単位
授業目標		知識の基	礎を身に	こ付けるこ	法、構文の練習 とを目標とす 標とする。		うとと	もに、現場	場で <i>0</i>)開発
授業概要	Ruby 技術者認定 ト指向言語独特の						心に学	ざつつ、	オブミ	ジェク
成績評価 方法	7-77		後期 ・後期 り判定	回する。	その他(レ 前期 回	ポー • 後其		旦		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
担当教員	実務経験を有する IT 企業のプログラ 実務経験を活かし	ラマーとし	ての実	務経験		ン方泊	法等を	教授		
使用 テキスト等	高橋征義,後藤裕	蔵『たの	しいRi	uby 第6	版 』(SB クリニ	エイラ	ティブ)			

教育科目	Ruby II			教育内容	Ruby II			講	義					
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前	期·後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1	単位					
授業目標	で活用できる	地元就職を念頭に基礎となる Ruby の文法、構文の練習を行うとともに、現場での開発で活用できる知識の基礎を身に付けることを目標とする。 Ruby 技術者認定試験 Silver の合格を目標とする。												
授業概要	_	y 技術者認定試験 Silver の合格を目標に各種メソッドを中心に学びつつ、オブジェク 向言語独特のプログラミング技術の学習を進めていく。												
成績評価 方法			後 ・後 、 及 で	明 回			耳							
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る											
担当教員	実務経験を有する	3 · 🤄	車門知	識や資格等	を有する									
使用 テキスト等	高橋征義,後藤裕	 蔵『たの	しい	Ruby 第6	版』(SB クリニ	エイティブ)								

教育科目	Rails I			教育内容	Rails I			講	義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期) · 後期	授業コマ数	30 = 5	単位数	2	単位
授業目標					ァイルの使い気 へコマンドの		. , - , .		
授業概要	Rails を構成する 面・動作の確認を			, –		,	. – •	_ ,.	_ , , ,
成績評価 方法			後期 ・後期 り判定	口	その他(レ 前期 回	ポートな <i>と</i> ・後期	f) 日		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る						
担当教員	実務経験を有する IT 企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	こしての	実務経験		ン方法等を	₹教授		
使用 テキスト等	掌田津耶乃『Rub	y on Rail	s 6 超.	入門』(秀和	ロシステム)				

教育科目	Rails II			教育内容	Rails II				淨	習
学 科 開講学年	IT 学科 2年	開講期	開講期 前期・後期 授業コマ数 30 コマ 単位数							単位
授業目標	を実現させる なる。	ために必	要なこ	コードの記述	ァイルの使いた **、コマンドの ** **する力を身に	実行	などの			
授業概要	Rails を構成する 面・動作の確認を			, , ,				•		_ , , ,
成績評価 方法			後 ・後 常 点 に	明 回		ポー l ・後期		囙		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る							
担当教員	実務経験を有す。 IT 企業でのプロク 実務経験を活かし	ブラマーと	こしての	の実務経験		ン方法	去等を参	教授		
使用 テキスト等	掌田津耶乃『Rub	y on Rail	.s 6 超	3入門』(秀和	ロシステム)					

教育科目	Java I			教育内容	Java I			詩	購義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前	期·後期	授業コマ数	29 コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. Java の構文を 2. Java の構文を	_ ,, , , , ,	-	0	ラムを記述する	うことができ	る。		
授業概要	Java の構文、オンなして要求された				•		,	ルを値	吏いこ
成績評価		i期 III	後期		その他 (レ) 前期 回) 可		
力法	小テスト 前評定方法	i期 回	• 後其	明 回		* 仮朔	<u> </u>		
	Ti	結果及び	平常点	京(検定試験	(結果を含む)	により判定	する。		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る						
	実務経験を有する	→	厚門知	識や資格等	を有する				
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こして	の実務経験					
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	'ーク・プレゼ	ン方法等を	教授		
 使用	中山清喬『スッキ	リわかる	Java	入門 実践網	諞』(インプレ)	ス)			
た/ii テキスト等	中山清喬、国本大	.,,,		_	. ,	,		_	
	サーティファイ『	Java プロ	ュグラ	ミング能力	認定試験 3級	過去問題集	』(ウィ	ネッー	F)

教育科目	Java II			教育内容	Java II			討	構義			
学科	IT 学科	開講期	前	期 後期	授業コマ数	15 =	マ単位数	1	単位			
開講学年	2 年											
授業目標	1. Java の構文を	を使い、要	要求さ	れたプログ	ラムを記述する	ることがで	きる。					
授業概要	Java の構文、オンなして要求された				•		, ., -	ルを(吏いこ			
	定期テスト 前	i期	後其	用	その他(レ	ポートなど	<u>.</u> ")					
成績評価	小テスト 前	期 回	後其	明 回	前期 回	・後期	口					
方法	評定方法 定期試験及び平	常点(検	定試懸	険結果を含む	g) により判定	する。						
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る									
	実務経験を有する) · (厚門知	識や資格等	を有する							
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こして	の実務経験								
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	<i>リ</i> ーク・プレゼ	ン方法等を	· 教授					
使用	中山清喬『スッキ	リわかる	りわかる Java 入門 実践編』(インプレス)									
トラキスト等	中山清喬、国本大											
) () I II	サーティファイ『	Java プロ	ュグラ	ミング能力	認定試験 3級	過去問題	集』(ウィ	ネッ	F)			

教育科目	Android I			教育内容	Android I				誹	毒義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前	期•後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位
授業目標	1. Android 向け 2. Android の知				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ことが	ができる	5 .		
授業概要	Kotlin の文法を理 Android アプリを								してい	いく。
	定期テスト 前	i期	後其	FI.	その他(レ	ポー	トなど)			
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後其	月 回	前期回	· 後其	朝 [
方法	評定方法									
	課題提出及び平	常点によ	り判定	ごする。						
	『坪内学園教務規	!程』によ	る							
	実務経験を有する	⋑・ ₫	厚門知	識や資格等	を有する					
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こしての	の実務経験						
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	'ーク・プレゼ	ン方法	去等を	教授		
使用	WINGS プロジェ	 クト 齊i		三『基礎&瓜	 ぶ用力をしっか	り育	成!Ar	idroid 7	プリト	開発の
テキスト等	教科書 第3版』(翔泳社)								

教育科目	Android II			教育内容	Android II				湞	習				
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前非	湖·後期	授業コマ数	30	コマ	単位数	2	単位				
授業目標	1. 各コンポーネ 2. Android の知	_				-	ができる	3.						
授業概要		oid アプリを構成する各コンポーネントとライフサイクルを理解し、要求されたアク ビティ、ビューを作成する。												
	定期テスト 前	·期	後期	J	その他(レ	ポー	トなど)							
成績評価	小テスト 前	i期 回	・後期	回回	前期 回	後其	期 [□						
方法	評定方法													
	課題提出及び平	常点によ	り判定	する。										
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る											
	実務経験を有する		專門知語	哉や資格等	を有する									
担当教員	IT 企業でのプロク	ブラマーと	こしての	つ実務経験										
	実務経験を活かし	て知識・	技術・	グループワ	<i>リ</i> ーク・プレゼ	ン方法	去等を	教授						
使用	WINGS プロジェ	 .クト 齊原				り育	成!Ar	ndroid ア	プリ月	開発の				
テキスト等	教科書 第3版』(翔泳社)												

教育科目	キャリア演習Ⅱ			教育内容	キャリア演 性 II	【習Ⅱ・人間の	性と社会	演	[習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	Ú	期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1	単位
授業目標	1. 就職活動を円2. マナーの大切2. マナーの大切23. 職業生活を営む4. 社会の中での自を築くために積極	さを理解し 上で必要 己の在り	人、社 な態度 方生さ	会人として 度やコミュニ き方について	-ケーションの こ認識させ、 働	能力を培う。		豊かな	社会
授業概要	社会人講話や就職 ついて学ぶ。学生 スにおけるコミュ 社会性とは何か、	と社会人	で異れ	なるコミュニ スキルを理解	ニケーション能 なする。	力を知り、	事例を通	じてと	
成績評価 方法			後其 ・後其 組み [‡]	明 回			囙		
評定基準	『坪内学園教務規	程』によ	る						
担当教員	実務経験を有する		厚門知	識や資格等	を有する				
使用 テキスト等	自主作成プリント	等							

教育科目	工業・社会Ⅱ			教育内容	総合体育III・企画マネジメントII 総合体育IV・式典出席			演習	
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前	期·後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	2	単位
授業目標	 マナーの大切さを理解し、集団行動の協調性を養う。 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 自ら率先する力を養う。 								
授業概要	スポーツ大会、学園祭								
成績評価 方法			後其 ・後其 価を行	明 回		ポートなど) 1 回・後期			
評定基準	『坪内学園教務規程』による								
担当教員	実務経験を有する。 専門知識や資格等を有する								
使用 テキスト等	自主作成プリント	など							